第 5 章

保健･医療･福祉基盤づくりと連携

1 未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績‥‥‥‥‥85
2 保健医療福祉計画の推進‥‥‥‥‥

1　未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績

県央地域県政総合センターと連携し、厚木合同庁舎に未病コーナーや県央地域の障がい者地域作業所の手作り商品を展示するケースを設置しました。また、ともに生きる社会推進週間(令和 1 年 7 月 22 日～28 日)では、座間市及び JA さがみ座間営農経済センター・座間養護学校と連携し、JA ざま販売所「米ディハウスざま」の店内の POP として生徒作品を展示し、併せて、座間市役所・厚木合同庁舎でも作品展を実施しました。その他、県央地区の地域作業所の PR ポスターを庁舎内に掲示しました。

さらに、管内市町村等と連携し、「未病改善」及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発に係る取組を実施しました。

[主なイベント]

・清川村健康まつり（清川村）

・健康フェスタあいかわ 2019（愛川町）

・海老名市こころのバリアフリー（海老名市）

・座間市健康まつり（座間市）

・厚木市農業まつり（厚木市）

・かなキャラ大集合！2019（厚木市）

・フレッシュマンセミナー（東京農業大学）

・松蔭祭(松蔭大学)

・幾徳祭（神奈川工科大学）

・給食施設従事者講習会（厚木市）

・学生合同オリエンテーション（看護学生、保健師学生、管理栄養士学生）

計 36 件

2　保健医療福祉計画の推進

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成 9 年度～）

県央二次保健医療圏（厚木保健福祉事務所･厚木保健福祉事務所大和センター管内）の保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、県央地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

平成29年度からは、神奈川県地域医療構想の県央構想区域の構想の達成を推進するために必要な事項を協議事項に加えて、推進会議を開催しています。

また、地域医療構想の推進に向けて県央構想区域内において検討するために、推進会議内に病院間の情報共有や意見交換等を行う県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループを設置して、平成 30 年度からワーキンググループも開催しています。

ワーキンググループは、推進会議委員（29 名）のうち各医師会長（4 名）及び各病院協会長（2 名)、並びに県央構想区域内の医療機関（32 病院）の管理者等を構成員としており、議題等に応じて、構成員全員で集まって開催する場合や、医療機関を相模川の東部地区と西部地区に分けて開催する場合があります。

ア　県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内　　容	場　所	出席者数（委員）
8 月 27 日	1　報告 (1) 令和元年 4-6 月実績報告並びに今後の予定(地域医療連携推進法人　さがみメディカルパートナーズ) 2　議題 (1) 医療法人社団葵会　ＡＯＩ七沢リハビリテーション病院について (2) 医療法第 7 条第 3 項の許可を要しない診療所の取扱いについて (3) 病床整備について (4) 神奈川県地域医療構想の県央構想区域における取組み等 (5) 令和元年度の地域医療構想調整会議の進め方について (6) 県央地域の現状について (7) 報告事項 (8) その他	厚木保健福祉事務所大和センター講堂	26

11月14日	1　議題 (1) 医療法第７条第３項の許可を要しない診療所の取扱いについて (2) 医療法人社団葵会　ＡＯＩ七沢リハビリテーション病院について (3) 令和元年度第１回県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ結果概要 (4) 神奈川県地域医療構想の県央構想区域における取組み等 (5) その他 2　報告 (1) 公立・公的医療機関等に対する具体的対応方針の再検証要請について (2) その他	厚木保健福祉事務所大和センター講堂	27
2月6日	1　議題 (1) 病床整備事前協議について (2) 医療法第７条第３項の許可を要しない診療所の取扱いについて (3) 医療法第７条第３項の許可を要しない診療所にかかる協議について (4) 神奈川県地域医療構想の県央構想区域における取組み等 (5) 令和２年度地域医療構想調整会議の進め方について (6) 精神病床に係る病院等の開設等に伴う取扱いについて 2　報告 (1) 神奈川県保健医療計画の中間見直しについて (2) 医師確保計画・外来医療計画（案）について (3) 公立・公的医療機関に対する具体的対応方針の再検証要請について (4) 地域医療連携推進法人さがみメディカルパートナーズの医療連携推進方針の変更について (5) 令和元年度第２回県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ結果概要 (6) 令和元年度厚木保健福祉事務所地域包括ケア・在宅医療推進会議結果概要	厚木保健福祉事務所大和センター講堂	27

イ　県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループの開催

開催日	内　　容	場　所	出席者数
10 月 3 日	1　議題 (1) ２０２５年に向けた対応方針について ・対応方針を更新する医療機関による説明等 (2) 意見交換等 (3) その他 2　報告事項 (1) 病床整備について (1) 令和元年度の地域医療構想の進め方について (2) 神奈川県地域医療構想の県央構想区域における取組み等 (3) 県央地域の現状について (4) 報告事項 (5) その他	厚木保健福祉事務所大和センター講堂	48
1 月 16 日	1　議題 (1) 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等に関する調査について (2) その他	厚木保健福祉事務所大和センター講堂	14

(2) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、働き盛りの世代を主な対象として、地域保健と職域保健が連携し、健康課題に対する効果的な対策等を推進しています。

ア　県央地区地域・職域連携推進協議会の開催（平成 27 年度～）

開催日	内　　容	場所	対象	出席者数
3 月 16 日 （延期）	議題 1　令和元年度地域・職域連携推進協議会ワーキンググループ実施報告 2　小中規模事業所の方へ「働く人に“耳よりな情報”」について 3　令和 2 年度の県央地区地域・職域連携推進協議会の取組みについて	厚木合同庁舎 2 号館 4 階 AB 会議室	医師会・歯科医師会代表、学識経験者、厚木労働基準監督署、かながわ労働センター県央支所、商工会議所（厚木・大和・海老名)、商工会（座間・綾瀬・愛甲)、神奈川労務安全衛生協会厚木支部、県央地域産業保健センター、全国健康保険協会神奈川支部、市町村健康づくり主管課、厚木保健福祉事務所・大和センター)	―

イ　県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループの開催（平成 27 年度～）

開催日	内　　容	場所	対象	出席者数
9 月 17 日	議題 1　各機関での取組み状況の共有 2　働く人に「耳よりな情報」について 3　労働基準監督署より話題提供「県央地区における労働衛生管理・産業保健等問題点等」	厚木合同庁舎 1 号館 3 階 C 会議室	厚木労働基準監督署、かながわ労働センター県央支所、商工会議所（厚木・大和・海老名）、商工会（座間・綾瀬・愛甲）、神奈川労務安全衛生協会厚木支部、県央地域産業保健センター、全国健康保険協会神奈川支部、市町村健康づくり主管課、厚木保健福祉事務所・大和センター）	22

エ　神奈川県「事業所の健康づくり支援事業」

開催日	内容	場所	対象	出席者数
(ｱ)7 月 23 日 (ｲ)11 月 8 日	(ｱ)健康教育打合せ 施設長等への健康診断・メンタルヘルスの取組みに関するヒアリング (ｲ)健康教育（同日２回開催） 「こころの健康～ストレスとの付き合い方について～」	社会福祉法人くすのきメイサムホール会議室	社会福祉法人くすのきメイサムホール 施設職員	(ｱ)4 (ｲ)41

オ　健康教育　　5回　　631人

開催日	内容	場所	対象	出席者数
6月17日 6月18日	ミニ健康教育 「血管モデル、脂肪モデルを用いて」	厚木商工会議所1階ロビー	厚木商工会議所　会員事業所の従業員、健診スタッフ	339
9月19日 9月27日	「こころの健康と身体の健康」（定年後に心と身体の健康を保つために心がけておくことについて）	サニープレイス座間	独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	100
＊＊ 10月16日	「要介護者への口腔ケアを実施するにあたって」 （口腔ケアの実習含む）	相武台病院 会議室	座間市グループホーム連絡協議会に所属する施設スタッフ	21
＊ 11月8日 午前・午後	「こころの健康～ストレスとの付き合い方について～」	社会福祉法人くすのきメイサムホール 会議室	社会福祉法人くすのきメイサムホール 施設職員	41
11月11日 11月12日	ミニ健康教育 「血管モデル、脂肪モデルを用いて」	厚木商工会議所1階ロビー	厚木商工会議所　会員事業所の従業員、健診スタッフ	130

＊　　神奈川県「事業所の健康づくり支援事業」として実施（再掲）

＊＊　歯科保健対策　健康教育・集団歯科保健指導として実施（再掲）

カ　その他普及啓発等

開催日	内容	対象	出席者数
＊ 6月17日 6月18日	リーフレット類配布 （未病、がん検診、受動喫煙防止等） 健康ブースの設置 （骨健康度測定、血管年齢測定、 ヘモグロビン濃度測定） ミニ健康教育 ≪厚木市との共同実施≫	厚木商工会議所 会員事業所の従業員、健診スタッフ	339
＊ 11月11日 11月12日	リーフレット類配布 （未病、がん検診、受動喫煙防止等） 健康ブースの設置 （骨健康度測定、血管年齢測定） ミニ健康教育 ≪厚木市との共同実施≫	厚木商工会議所 会員事業所の従業員、健診スタッフ	130

2月4日 2月5日 2月6日	リーフレット類配布 （未病、がん検診、受動喫煙防止等） 健康ブースの設置 肩こりチェック、肺活量測定、握力測定 ≪海老名市との共同開催≫	海老名商工会議所　会員事業所の従業員、健診スタッフ	300
通年	中小規模事業所向け健康づくり対策事例集の作成と配布及びHPでの情報発信		
通年	ホームページ、ツイッターでの発信 社食における健康な取組みについて取材し発信。 若い世代へ健康な食生活について情報提供 《栄養･食生活対策推進事業》		

＊　地域・職域連携　健康教育として実施（再掲）

(3) 医療と介護の連携

2025年には、医療や介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、平成24年度から地域包括ケア会議を設置し、平成27年度に地域包括ケア・在宅医療推進会議として改編しました。

厚木保健福祉事務所地域包括ケア・在宅医療推進会議の開催

開催日	内　　容	出席者数
1月30日	1　居宅療養管理指導について 2　入院時情報提供書の様式（県央地区推奨様式）について 3　厚木保健福祉事務所の取組みについて (1)訪問歯科診療・口腔ケア推進の取組み (2)介護施設における看取り研修 (3)シニアの食事アンケート (3)精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築 （管内精神科病院の65歳以上の長期入院患者調査）	24

3　保健医療福祉の基盤づくり

(1) 保健衛生研修

開催日	内　　容	場　所	対　　象	参加者数
11 月 16 日	1　県央地域災害医療対策会議について 2　保健医療調整本部のあり方 講師：独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院　救急救命センター 救急災害医療部 部長　中森　知毅　氏	厚木市立病院大会議室	県央地域災害医療対策会議委員及び構成機関の職員等 県央地域市町村職員等	53
1 月 29 日	1　「災害対策の基本となる法的根拠及び災害時健康危機管理支援チーム（ＤＨＥＡＴ）について」 2　多職種によるグループワーク 講師：甲府市健康支援センター 古谷　好美　氏	厚木合同庁舎 2 号館 4 階 AB 会議室	行政職員（２次医療圏管内 7 市町村及び保健福祉事務所職員等	35
2 月 12 日	1　「外国籍保護者への支援を考える～彼らの立場から見えること(母子保健を中心に)」 2　事例報告 3　情報交換 講師：国際言語文化アカデミア 教授　坂内　泰子　氏	厚木合同庁舎 2 号館 4 階 AB 会議室	厚木保健福祉事務所・大和センター管内に従事する保健師、看護師、管理栄養士､歯科衛生士、保育士等	19

(2) 保健福祉事務所実習指導

ア　地域保健実習合同セミナー･合同オリエンテーション

前期　平成 31 年 4 月 18 日（木）15 人、4 月 19 日（金）60 人
後期　令和元年 9 月 5 日　（木）22 人、9 月 6 日　（金）32 人

イ　実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数	備　考（学校名等）
総　　数	13	91	
保　健　師	3	10	県立保健福祉大学、昭和大学、北里大学
看　護　師	5	58	横浜市病院協会看護専門学校、厚木看護専門学校看護（第一学科・第二学科）、県立保健福祉大学、湘南平塚看護専門学校
管 理 栄 養 士	4	17	鎌倉女子大学、神奈川工科大学、相模女子大学、県立保健福祉大学
歯 科 衛 生 士	1	6	新横浜歯科衛生士専門学校

(3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

ア　国民生活基礎調査

調査日 6 月 6 日　対象数 7 地区 386 世帯

イ　2019 年社会保障・人口問題基礎調査「第 8 回全国世帯動態調査」

調査日 7 月 1 日　対象数 2 地区 142 世帯

ウ　人口動態調査（月報）

エ　医療施設動態調査（月報）

オ　病院報告（患者票：月報）※年度報の従事者票は平成 28 年度をもって廃止

カ　地域保健・健康増進事業報告（年度報）

キ　母体保護に関する報告（年度報）

ク　医師・歯科医師・薬剤師調査（隔年）

ケ　歯科衛生士、歯科技工士並びに保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届（隔年）

コ　医療施設静態調査（3 年毎、本年実施なし）

サ　患者調査（3 年毎、本年実施なし）

シ　受療行動調査（3 年毎、本年実施なし）

(4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア　市町村広報紙の活用

毎月発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ　厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

ウ　ツイッターによる情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、ツイッターによる情報発信を随時行いました。（平成24年7月開始）

(5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。

(活動した時間8時間を1人として換算)

区分	母子保健	健康増進	歯科保健	精神保健福祉	その他	計
歯科医師			2			2
保健師	2	6				8
歯科衛生士			2			2
管理栄養士		6				6
精神保健福祉担当						
計	2	12	4	0	0	18

地域保健・健康増進事業報告　14 (2) 市町村への援助状況より

4　適正な保健・医療・福祉等の確保

(1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項目		病院		診療所			助産所	あんま・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
		病院	X線装置等	一般	歯科	X線装置等				
総数		50	58	245	58	320	1	98	51	3
許可申請	開設			59	2					
	使用	15		2						
	変更等	29		18	1					
届出	開設・設置		13	63	8	158		31	8	
	変更等	6	33	45	37	2		51	36	2
	休廃止		12	58	10	160	1	16	7	1

(2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設の分類と検査実施サイクル

① 病院	病床を20床以上有する医療施設	毎年1回
② 有床診療所	19床以下の病床を有する医療施設	3年に1回以上
③ 人工透析診療所	人工透析設備を有する医療施設	3年に1回以上
④ 特定眼科診療所	要綱に定める要件を充たす医療施設	5年に1回以上

医療施設定期立入検査対象機関数　　(令和元年 10 月 1 日現在)

区分	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計
病院	12	4	4	1	1	22
有床診療所	7	5	3			15
人工透析診療所	3	3	1	1		8
特定眼科診療所						0
合計	22	12	8	2	1	45

・令和元年度定期立入検査施設

病院　　22施設(厚木市12、海老名市4、座間市4、愛川町1、清川村1)

診療所　　7施設(厚木市3、海老名市3、愛川町1)

ア　病院立入検査

名　　称	実施日	名　　称	実施日
医療法人社団神愛会 オアシス湘南病院	9 月 27 日	医療法人興生会 相模台病院	12 月 9 日
医療法人社団増田厚生会 清川遠寿病院	10 月 4 日	東名厚木病院	12 月 12 日
愛川北部病院	10 月 8 日	医療法人社団さがみ野中央病院	12 月 17 日
医療法人社団昌栄会 相武台病院	10 月 11 日	医療法人弘徳会 愛光病院	12 月 20 日
相州病院	10 月 18 日	神奈川ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院	12 月 26 日
医療法人沖縄徳洲会 湘南厚木病院	10 月 25 日	医療法人仁愛会 近藤病院	1 月 10 日
社会医療法人ｼﾞｬﾊﾟﾝﾒﾃﾞｨｶﾙｱﾗｲｱﾝｽ座間総合病院	10 月 29 日	医療法人鉄蕉会 亀田森の里病院	1 月 17 日
湘陽かしわ台病院	11 月 8 日	医療法人社団 葵会 ＡＯＩ 七沢ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院	1 月 23 日
仁厚会病院	11 月 12 日	厚木市立病院	1 月 31 日
神奈川中央病院	11 月 28 日	社会医療法人ｼﾞｬﾊﾟﾝﾒﾃﾞｨｶﾙｱﾗｲｱﾝｽ海老名総合病院	2 月 7 日
医療法人社団一真会 座間厚生病院	12 月 2 日	厚木佐藤病院	2 月 17 日

イ　診療所立入検査

有床診療所（3 施設）

名　　称	実施日	名　　称	実施日
海老名耳鼻咽喉科クリニック	3 月 5 日	厚木産婦人科	3 月 26 日
医療法人社団厚成会海老名ハートクリニック	3 月 12 日		

人工透析診療所（4 施設）

名　　称	実施日	名　　称	実施日
愛川クリニック	2 月 28 日	医療法人社団永康会海老名クリニック	3 月 9 日
医療法人社団善仁会厚木クリニック	3 月 4 日	医療法人社団善仁会あつぎ新クリニック	3 月 13 日

※特定眼科（0 施設）

ウ　調査内容

・医療従事者の健康診断等の管理状況
・構造設備
・医療安全に関する総合的対策（医療安全、院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等）等

エ　調査結果

項目	内容	病院(件)	診療所(件)
文書指摘	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に重大な影響を及ぼすおそれがあり、早急な改善が必要な事項	1	
文書指導	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に影響を及ぼすおそれがあり、改善が必要な事項	0	
口頭指導	医療法及び関連法令の違反であって、当該違反事実等の改善が比較的容易であると認められる場合及びその他、所長が特に必要があると認めた事項	30	8

(3) 医療関係相談

ア　相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	3			1	1	2	2	5	1	1	4	24

イ　相談方法

電話	来庁	手紙･メール	合計
24			24

ウ　対象施設

病　院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他	合計
9	12	1		3	25

※複数施設相談のため重複あり

エ　相談内容

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	13
医療行為についての疑義、苦情	2
医療関係法令に関する照会	2
医療機関についての問い合わせ	0
その他	7

(4) 介護保険

事業者指導　(平成 13 年度～)

介護保険指定事業者等を対象に、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を目的として、指導しました。

ア　集団指導

介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点等について、介護保険課、高齢施設課、各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催しました。

開催日	会　場
9月 12 日	小田原市生涯学習センターけやき
9月 13 日	藤沢市民会館小ホール
9月 19 日	神奈川県総合医療会館大講堂
9月 24 日	海老名市文化会館小ホール
9月 25 日	伊勢原市文化会館小ホール
9月 26 日	神奈川県総合医療会館大講堂

イ　実地指導

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行いました。

実地指導実施状況（サービス数）

区分		厚木市		大和市		海老名市		座間市		綾瀬市		愛川町		清川村		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
居宅サービス	訪問介護	5		7				8				1				21	
	訪問入浴介護					1	1					1	1			2	2
	訪問看護	1	1	2	2	2	2	2	2							7	7
	訪問リハビリテーション					1	1									1	1
	通所介護	2		3		1		5		1						12	
	通所リハビリテーション			1	1	2	2			1	1	1	1			5	5
	短期入所生活介護	1	1	4	4	1	1	1	1							7	7
	短期入所療養介護			1	1	2	2			1	1	1	1			5	5
	特定施設入所者生活介護	2	2	4	3			3	1	3	3					12	9
	福祉用具貸与	1	1					1	1							2	2
	特定福祉用具販売	1	1					1	1							2	2
	計	13	6	22	11	10	9	21	6	6	5	4	3	0	0	76	40
介護保険施設	介護老人福祉施設		1		2		1		1								5
	介護老人保健施設				1		2				1		1				5
	介護療養型医療施設																0
	計		1		3		3		1		1		1		0		10
合計			20		36		22		28		12		8		0		126

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項目	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	診療放射線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士	受胎調節実地指導員
登録申請	477	19	4	38	13	4	187	2	73	32	11	19		53	20	2		
籍訂正	318	14	1	54	30	5	139	12	123	30	2	10	1	16	12	1		
再交付	29	2		3	1		10	1	3	7				1	1			
登録抹消	6	1	3				1	1										
返納																		

(6) 献血

令和元年度、神奈川県献血目標の 313,672 人のうち厚木保健福祉事務所の目標は 9,948 人（3637.2 リットル）と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、9,298 人に献血をしていただきました。

ア　献血数・目標数（市町村別）

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）
総数	9,948	9,298	286	410	9,662	8,888		
厚木市	4,785	4,340	125	200	4,660	4,140		
海老名市	3,425	3,204	95	153	3,330	3,051		
座間市	991	1,081	35	45	956	1,036		
愛川町	714	640	30	10	684	630		
清川村	33	33	1	2	32	31		

イ　年次別献血数・目標数

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）
平成21年	12,672	11,558	447	122	12,225	11,436		
平成22年	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		
平成23年	8,543	9,515	523	103	8,020	9,412		
平成24年	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		
平成25年	8,639	11,131	259	553	8,380	10,578		
平成26年	8,551	9,751	431	412	8,120	9,339		
平成27年	8,689	10,575	635	574	8,054	10,001		
平成28年	9,229	9,922	463	468	8,766	9,454		
平成29年	10,158	9,278	470	418	9,688	8,860		
平成30年	9,052	9,394	286	417	8,766	8,977		
令和元年	9,948	9,298	286	410	9,662	8,888		

(7) 表彰

ア　神奈川県保健衛生表彰（知事）〔令和元年 11 月 20 日：神奈川県庁本庁舎大会議場〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	三宅　正敬	医師　三宅眼科医院
	鈴木　仁	医師　ざま眼科クリニック
	宮林　由紀子	医療関係事務　医療法人社団　石井医院
環境衛生関係功労者	長坂　登喜代	美容師　長坂美容室
食品衛生関係功労者	長谷山　正範	飲食店営業　中華料理　万正
地域公衆衛生活動関係功労者	吉冨　真由美	保健師　厚木市役所

施設の部

施設名	業種	施設の所在地
株式会社旅館さがみ	飲食店営業	厚木市中町

献血推進団体（知事表彰）

表彰団体名	所在地
公益社団法人　厚木青年会議所	厚木市栄町
株式会社秀建	海老名市中央
株式会社リコーテクノロジーセンター	海老名市泉

イ　保健衛生表彰（厚木保健福祉事務所長）〔令和元年 11 月 7 日：厚木市文化会館〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	上出　正之	医師　厚木市立病院
	内山　喜一郎	医師　湘陽かしわ台病院
	小林　直之	医師　相武台ニーレンクリニック
	髙熊　達朗	歯科医師　髙熊歯科
	石渡　靖夫	歯科医師　いしわた矯正歯科
	武藤　昇	歯科医師　むとう歯科医院
	坂之上　和稔	薬剤師　アイン薬局海老名店
	梶原　周	看護師　座間小児科診療所
	宮内　直子	歯科衛生士　厚木市歯科保健センター障がい者歯科
	宮内　ゆみ	歯科衛生士　もりた歯科医院
	渡辺　美加子	看護師　神奈川リハビリテーション病院
	瀬川　千恵	看護師　東名厚木病院
	平野　春代	医療関係事務　黄金井形成外科小児科クリニック
	水ノ上美知子	医療関係事務　海老名市急患診療所
環境衛生関係功労者	金井　茂	理容師　カナイ理容室
	榮　喜美子	美容師　ビューティさかえ
食品衛生関係功労者	大久保　豊	飲食店営業　大衆酒蔵どんぐり
	佐藤　信子	飲食店営業　すなっく夢香
	西海　幹男	飲食店営業　㈲ふるさとの宿
地域公衆衛生活動関係功労者	湧上　直美	保健師　座間市役所

優良施設

施　設　名	業　種	施　設　の　所　在　地
㈱銀座コージーコーナー神奈川清川工場	菓　子　製　造　業	愛甲郡清川村煤ケ谷
きくよし	飲　食　店　営　業	厚木市長谷

献血推進団体（厚木保健福祉事務所長表彰）

表　彰　団　体　名	所　在　地
株式会社リコー　サービスパーツセンター	厚木市長沼

5 健康危機管理対策

(1) 県央地域災害医療対策会議（平成 27 年度～）

神奈川県保健医療救護計画に基づき、神奈川県保健医療調整本部（以下「県保健医療調整本部」という。）と連携して、県央地域における災害時医療救護活動等をコーディネイトするため、県央地域災害医療対策会議を設置しています。

平成 29 年度より、県央地域災害医療対策会議を相模川の東部地区と西部地区に分けて、東部会議と西部会議を開催としていたが、令和元年度は新型コロナウイルスの感染症の拡大防止に向けた取組みのため、書面開催としました。

県央地域災害医療対策会議

開催日	内　　容	場　所	出席者数
3 月 24 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催	・県央地域災害医療対策会議活動方針について ・令和元年度の取組みについて ・今後の取組みについて	厚木保健福祉事務所大和センター講堂 →書面開催	48

(2) 高病原性鳥インフルエンザ対策

ア　実動訓練への参加

発生を想定した現地危機管理対策本部各担当職員によるベースキャンプ、現場事務所等の開設、運営訓練や応援職員の防疫作業等に従事する訓練を実施し、各作業の課題や各作業の引継ぎ等の検証を行うとともに県と関係民間団体との相互連携の強化を目的とした訓練へ主催者側と保健予防班として協力実施しました。

日時　令和元年 10 月 9 日(水)　9：45～16:10
場所　神奈川県総合防災センター
主催　県央地域県政総合センター、環境農政局農政部畜産課、家畜保健衛生所
　　一般社団法人神奈川県畜産会
参加人数　201 人
参加機関
　訓練参加者：県応援職員　(防疫作業職員)、陸上自衛隊隊員
　訓練運営者：県危機管理対策本部（環境農政局畜産課 等）、現地危機管理対策本部（県央家畜保健衛生所、湘南家畜保健衛生所、県央地域県政総合センター厚木保健福祉事務所 等）、一般社団法人神奈川県畜産会
　観覧者　　：県関係機関、市町村職員、農協等畜産関係団体職員、関係業者(協定締結業者等)、農林水産省及び近隣都道府県職員、自衛隊等

【当日の訓練内容】
1　挨拶（県央家畜保健衛生所　所長）

2　座学研修
(ア)　本日の演習内容について
(イ)　高病原性鳥インフルエンザの防疫体制について
(ウ)　高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫作業について

3　実地演習
(1)　応援職員の人員輸送（厚木南合庁にて実施）
(2)　ベースキャンプ訓練（応援職員受付・班分け・荷物預かり・防護服着衣指導）
(3)　現場事務所訓練（応援職員受付・防護服最終確認）
(4)　発生農場における殺処分・鶏の捕獲訓練・高所作業台での作業訓練
(5)　現場事務所における作業終了後の応援職員の全身消毒・防護服脱衣
(6)　ベースキャンプ訓練(健康調査・荷物引渡し等)

4　閉会(県央地域県政総合センター　所長)

イ　保健予防班（保健福祉事務所職員）訓練内容（**ゴシック部分**が保健予防班の役割）
上記実地演習のうち「3（2）ベースキャンプ訓練」「3（3）現場事務所訓練」を実施
参加者　神奈川県健康危機管理課　2 人
厚木保健福祉事務所　14 人
他保健福祉事務所・センターからの応援　9 人

（厚木保健福祉事務所だけでは保健師が不足するため、また、実際に高病原性鳥インフルエンザ発生の際には防疫作業地を所管する保健福祉事務所で対応することになるため、健康危機管理課を通じて実動訓練への職員応援要請を行っている）

3（2）ベースキャンプ訓練　（総合防災センター屋内訓練場）
・受付
・問診票確認（防疫作業員は事前配布の問診票に健康状態等を記入して持参）
・防護服の着衣指導、補助
・バスによる現場事務所への移動
・現場事務所から戻った際の手洗い・うがい

3（3）現場事務所訓練　（総合防災センター総合訓練場）
・受付から発生農場出発までの最終チェック
・防護服着衣状態確認・手袋・グローブ・ゴーグル等の小物装着指導、補助
・防疫作業のための装備最終確認
・ベースキャンプへの移動
・感染防止に配慮した脱衣指導、補助
・防疫作業後の手洗い・うがい

（3）新型インフルエンザ等対策

目的：新型インフルエンザ等が県内で発生した場合に備え、保健福祉事務所、センターにおける役割や連絡体制等を確認し、発生時の体制強化を図る。

ア　情報伝達訓練

健康危機管理課が作成した「令和元年度新型インフルエンザ等対策訓練　実施計画」に基づき、令和２年１月 15 日（水）に、対処方針に関する情報を健康医療局総務室から受信して帰国者接触者外来設置医療機関へ伝達する情報伝達訓練を行いました。

当所では、この情報伝達訓練に合わせて、受信した対処方針に関する情報を所内幹部に報告する等の所内会議開催訓練を実施しました。

イ　地域における訓練

神奈川県内において感染者が発生した場合、迅速かつ適切に対応する必要があります。

そこで、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、令和元年度は東海大学大磯病院と平塚市民病院で感染症疑い患者の把握から受診・入院受入れまでの役割の確認・連携強化を図るための実動訓練を実施しました。

・実動訓練
　日時：令和元年12月2日（月）
　場所：東海大学大磯病院、平塚市民病院

・机上訓練
　各保健福祉事務所、保健福祉事務所各センターで実施

ウ　新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議

開催日	内　　容	構成機関	出席者数
５月 23 日	・新型インフルエンザ対策における地域医療体制について ・関係機関の連携について ・その他意見交換について	関係医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、警察署、市町消防本部、市町村健康危機管理主管課、県衛生研究所、県医療危機対策本部室、県央地域県政総合センター、厚木保健福祉事務所	30
２月５日	・新型コロナウイルス感染症について ・指定感染症としての取り扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の対応について		37